

パナソニックは

統合にむけたリストラ始まる

三洋社員の切り捨てやめよ!!

大東テレビや守口本社で

早期退職や配置転換が!!

パナソニックは三洋電機との統合に向けた大規模リストラをことごとく進めようとしています。守口では三洋の本社機能そのものを無くしてしまう方向との話も聞かれます。パナソニックへの統合は2015年度と報道されていましたが、統合を前にした一方的な人減らしの始まりです。この1月、大東のテレビ部門で40人規模の早期退職が打ち出されました。

この発表に、従業員の間から「大東テレビは120人ほどだから、3人に1人は辞めろ」ということか、「みんな余剰人員のレッテルを張られた感じで、仕事にも集中しづらい。安心して働けない」などの声が出た。また、「ホンネは、三洋社員はいらぬ、みんな辞めてくれ」ということだろう。などの不安の声が上がっています。企業の経営者には、その従業員の仕事と家族を含めた生活を保障する社会的責任があります。パナソニックは業績も回復が報道されている日本有数の大企業です。その大企業としての社会的責任を果たすべきです。

早期退職・配置転換で「不本意な退職者を出さない」取り組みに全力を

パナソニックとの統合にむけて現在三洋電機法人で働いている人のほとんどを対象に早期退職や配置転換が行われようとしています。すでに大東テレビでは早期退職が打ち出され、他の部門の人にも人減らしの嵐がやってくるのではとの不安が出ています。従業員の不安に応えるため、労働組合は総力を結集して闘うことが求められています。三洋労組は、「非自発的な退職者を絶対に出さない」と言ってきました。これは当然のことで、ぜひとも会社に守らせなければなりません。また、配転も打ち出されることが予想されます。そのためには次のようなことが大切です。

- ・全組合員へ速やかに情報を開示する。
- ・職場討議など組合員同士が討議する機会を多く作る。
- ・組合員の意見を集約してその要求を実現するために親会社であるパナソニックとも交渉する。
- ・異動した人が異動先で不利益な扱いを受けないようフォローする。

これまでも、会社都合で仕事をなくされた上で遠隔地への異動が言われたり、家庭の事情を顧みない転勤を示唆され辞めざるをえなかったケースが多く発生しています。このような無理な異動や、余りにもスキルの合わない配置転換を言い渡された場合など、退職強要に等しい会社のやり方に対しては、本人の意向をよく聞き、組合が前面に出てきっぱりと中止させるべきです。労働者を守るため全力を尽くしましょう

配転に“ノー”と答えるための5章

- 一、「行きたくない」は正当な理由
- 二、生活の危機を主張しましょう
- 三、長年働いてきたことを主張しましょう
- 四、うまく言えないときは、だまりましょう
- 五、ひとりで悩まず、多くの人と相談しましょう

一人で悩んでも良い智恵はできません。困ったときには労働組合や信頼できる仲間、地域の民主団体などに相談しましょう

退職強要をハネ返す4ヶ条

- ① 「私はこの会社に残ります」この一言があなたと家族を守ります。
- ② それでも会社が「同意」をせよ。求めてくれば「これ以上の説得や面談はやめてください」ときっぱりいいます。
- ③ 「会社は大変」と言われたら、「私の生活も大変」と答え家族の顔を思い浮かべましょう。
- ④ 「同意するまで」何回も面談する「応じなければ仕事はない」などと迫れば違法です。「労働基準監督署か弁護士に相談します」といいます。

発行者：電機労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区新橋 4-24-3-20

Tel・FAX:03-6450-1777

編集：三洋電機労働者懇談会

発行 2014年1月 (号外)



(三洋電機版)

退職強要をうけたら ご相談を

電機・情報ユニオン

電話：03-6450-1777 (東京)

090-9714-8780 (関西)

メール：info@denki-union.org